

1	事業名称	N & G 自然体験キャンプ ～親子で考えるネットやゲームとのつきあい方～				
2	新規・継続	継続	3年目			
3	趣旨	信州高遠の自然の中で、ネットやゲームから離れ、様々な自然体験活動や交流活動を行いながら、親子でネットやゲームとのより良いつきあい方を学んだり、自分のネット利用について考えたりすることを目的としてキャンプを実施する。				
4	期日・期間	回数	開始日	～	終了日	期間
		1回	8月6日(土)	～	8月8日(月)	2泊3日
5	実施場所	国立信州高遠青少年自然の家				
6	募集人数	10家族				
7	協賛・後援	長野県教育委員会・山梨県教育委員会・愛知県教育委員会・伊那市教育委員会・伊那市				
8	参加者人数	7家族(18名)				
9	参加者類型	中学3年生1人、中学2年生1人、中学1年生2人、小学校6年生3人、参加者家族11人				
10	参加者地域	東京都2家族(4人)、長野県2家族(6人)、山梨県1家族(3人)、埼玉県1家族(2人)、愛知県1家族(3人)				
11	参加者分析	長野県からの参加者一家族は昨年度に引き続き参加。長野県のもう一家族は、企画運営委員からの働きかけによる参加。東京都からの参加者一家族は、企画運営委員(日本医師会)の講演会に参加し、そこで当事業のチラシを見て参加。あとの4家庭は当施設ホームページを見て参加。				
12	アンケート満足度	満足	やや満足	やや不満	不満	
		100%	0%	0%	0%	
13	アンケートの主な記述	<ul style="list-style-type: none"> ・最初硬かった表情がほぐれていくのが分かった。いつも「疲れた」が口癖なのに、その子が楽しんで笑顔で動き回っていた。スタッフの皆さんの気遣いで楽しい3日間を過ごすことができて良かった。 ・講師の先生方に直接話を聞いてもらえて大変ありがたかった。医療系の先生の話聞く機会があり、子どもも心に残ったと思う。 ・自然の中での楽しい企画が盛りだくさんあった。メンターさんと寝食を共にし、専門の先生と膝を合わせて相談ができた。本当に至れり尽くせりの企画だった。 ・ゲームをしたい気持ちを抑えるのはなかなか難しいが、母と納得できるルールを決めて守っていきたいと思った。 				
14	成果	<ul style="list-style-type: none"> ・1日の大半をネットやゲームで埋めていた子どもたちがメディアから離れ、様々な自然体験活動に取り組む中で、大自然の中で行う活動の良さを実感することができた。 ・日常生活における親子の会話が少ない家庭が多かったが、キャンプではしっかり親子間でコミュニケーションをとっており、親子関係にも良い影響を及ぼすことができたと思われる。 ・日頃、昼夜逆転現象や食事をとらないといった生活リズムを崩しがちな子どもたちが、このキャンプの日程を過ごす中で、早寝・早起き・朝ご飯の生活リズムを意識することができた。 ・ネットやゲームなどを長時間行うことが心身に悪影響を及ぼすことを学んでもらうことができ、ネット等とのつきあい方を考え直すきっかけを作ることができた。 ・同じ悩みをもつ保護者同士が話したり、講師の先生方と面談をする中で、日頃の悩みを口にしたりすることができ、親の精神的な負荷を緩和することもできたと思われる。 				
15	今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・本年度は昨年度に比べて参加者が増えたものの、直前のキャンセル等により募集定員の10家族には達しなかった。来年度のキャンプは内容や実施時期・保護者の全日程参加等について検討する必要がある。 ・子どもの体験活動を充実させること、彼らの達成感をさらに高めること、保護者向けのプログラムを充実させることについて、今後も更に発展させていきたい。 ・参加者が増えれば増えるほどメンターボランティアの人数確保が難しくなる。メンターがつとまる法人ボランティアの育成も継続して行っていく必要がある。 				
16	担当者メモ	<ul style="list-style-type: none"> ・メンターボランティアとして参加した学生が、皆あたたかく丁寧に参加者のサポートを行ってくれたため、参加者が全員前向きに事業に取り組むことができた。 ・キャンプファイヤーはボランティア主体で展開した。趣向を凝らした楽しい内容となったが、学生ボランティアの負担を増やしすぎない配慮も行っていきたい。 ・本年度もメンターボランティア研修を事業前日に実施した。メンターのテンションも上がり、非常に良い状態で事業に臨んでもらうことができた。 				

日程																
8月6日 (土)		12:00		15:00			18:15		19:00		20:30		21:30			
			受付・開会式 アイスブレイク 寝具の使用法確認 入室・荷物整理	野外炊飯(子ども中心)			入浴	個別面談 (小・中学生)		星座 観察	消灯					
8月7日 (日)		7:00		8:00		9:00		12:00		13:00		16:00		17:20	19:00	20:30
	起床	朝の散歩 「ドラム缶風呂 準備」	牛乳 パック ホット ドッグ 作り	表現ワーク 「遊びの力」			昼食	ワー クシ ョッ プ	保護者交流会 子ども交流会 「ドラム缶 風呂体験」	夕食	キャンプ ファイヤー		入浴	消灯		
8月8日 (月)		7:00		8:00		9:30		12:00		13:00		14:00				
	起床	朝の散歩 植生観察 自然物採取	朝食 整理整頓	思い出の作品 制作 「植物ポスト カード作り」	昼食	まとめの会 閉会式										

最初のプログラムは野外炊飯。ダッチオーブンを使って鳥の丸焼きに挑戦し、海鮮パエリアも作りました。



朝は早起きをして、周辺散策を行いました。1日目はみんなのでドラム缶風呂の準備、2日目は植生について観察し、自然物採取を行いました。



2日目のワークショップでの様子です。講師の先生のお話を聞き、親子やグループでネットやゲームとのつきあい方について考えました。



2日目の午後にドラム缶風呂を沸かし、参加者みんなで入りました。「とっても気持ちいい」と歓声が上がりました。



考えよう
家族みんなで
スマホのルール

私たちは子供たちの情報モラル育成に取り組みます

国立青少年教育振興機構 × 文部科学省

(担当:企画指導専門職 山崎 重幸)